

インドミッション団派遣事業業務 (インド高度人材活躍・海外ネットワーク強化事業) 委託仕様書

1 委託業務の名称

インドミッション団派遣事業業務(インド高度人材活躍・海外ネットワーク強化事業)

2 事業目的

本業務は、成長著しいインドをターゲットとし、インドの Nitte 大学や現地企業等にインド高度人材の受入を検討している県内企業の代表者及び山形県職員で構成されたミッション団を派遣するもの。

Nitte 大学、現地企業等の視察及び当大学の学生、幹部職員、現地企業関係者等との意見交換を通じ、インド高度人材の状況を実際に確認するとともに、インド関係機関とのネットワークの構築・強化を図る。ひいては、インド高度人材の獲得により、県内企業の人手不足の解消、経済交流及びイノベーション創出を図り、本県経済の活性化につなげていく。

3 委託業務の内容

事業の目的を達成するためにミッション団派遣に係る旅行業務一式を委託する。

(1) 基本的事項

- ① 時 期：令和8年1月18日(日)～1月22日(木)
- ② 期 間：2泊5日(宿泊数には、機内での宿泊を含まない。)
- ③ 訪 門 国：インド共和国
- ④ 対 象 者(人数)：山形県内民間企業の代表者(5名)、山形県職員(3名)
- ⑤ 行 程：

ア 山形県内民間企業の代表者(4名)と山形県職員(3名)の行程については、別紙1を参照すること。航空機は国際線(往復)：羽田空港～チャンギ国際空港～ケンペゴウダ国際空港、インド国内線(往復)：ケンペゴウダ国際空港～マンガルール国際空港とする。

イ 山形県内民間企業の代表者(1名)の行程については、別紙2を参照すること。航空機は国際線(往路)：羽田空港→チャンギ国際空港→ケンペゴウダ国際空港、国際線(復路)：ケンペゴウダ国際空港→デリー国際空港→羽田空港、インド国内線(往復)：ケンペゴウダ国際空港～マンガルール国際空港とする。1月21日(水)の IMTEX2026 視察後ベンガルール国際展示場からケンペゴウダ国際空港まで移動する。

- ⑥ そ の 他：山形県職員の旅費に関する経費については委託料に含まない。各々の参加者から直接徴収し、航空会社や宿泊先等に支払うこと。

(2) 詳細事項

- ① 国内外の交通・宿泊先の確保

ア 航空券の手配

以下のとおり手配すること。

- (ア) 山形県内民間企業の代表者(4名)と山形県職員(3名)

・国際線(往復)：羽田空港～チャンギ国際空港～ケンペゴウダ国際空港

- ・インド国内線（往復）：ケンペゴウダ国際空港～マンガルール国際空港

(イ) 山形県内民間企業の代表者（１名）

- ・国際線（往路）：羽田空港→チャンギ国際空港→ケンペゴウダ国際空港
- ・国際線（復路）：ケンペゴウダ国際空港→デリー国際空港→羽田空港
- ・インド国内線（往復）：ケンペゴウダ国際空港～マンガルール国際空港

イ 現地専用車の借上

安全で効率的なルートを選択して移動することとし、以下のとおり手配すること。
なお、訪問場所の詳細については決定次第、県から別途通知する。

(ア) １月 20 日(火)のケンペゴウダ国際空港からホテルまでの移動に使用する専用車

（運転者を除き最大 12 名が乗車でき、かつ、全員のスーツケース等を運搬できる大きさの車両で、運転者込みの貸切車両とすること。）

(イ) １月 21 日(水)の全日程に使用する専用車

（運転者を除き最大 12 名が乗車でき、かつ、全員のスーツケース等を運搬できる大きさの車両で、運転者込みの貸切車両とすること。）

(ウ) １月 21 日(水)の IMTEX2026 視察後ベンガルルール国際展示場からケンペゴウダ国際空港までの移動に使用する専用車【現地時間 12:00 頃出発→現地時間 13:30 頃ケンペゴウダ国際空港着（現地時間 15:30 フライトのエアインディア AI2511 便に搭乗予定）】

（１名及び当該者のスーツケース等を運搬できる大きさの車両で、運転者込みの貸切車両とすること。）

ウ 宿泊ホテルの手配（山形県内民間企業の代表者 5 名、山形県職員 3 名）

宿泊ホテルについては、訪問場所へのルートや利便性・安全面に十分配慮してホテルを選定したうえで、セキュリティが万全で、英語によるフロント対応ができることとし、以下のとおり手配すること。

(ア) １月 19 日(月)～１月 20 日(火) マンガルルール 1 泊

(イ) １月 20 日(火)～１月 21 日(水) ベンカルルール 1 泊

※利用する部屋はシングルルームとすること。なお、手配時に禁煙・喫煙ルームの希望を確認するものとする。

※宿泊は、朝食の提供ができること。

※契約締結後に、ホテルの立地、安全性、設備、部屋の内容等が確認できる資料を提供すること。

② 現地における通訳者の確保

ア 現地通訳者の手配

ミッション団に帯同させ、訪問先での説明事項等について参加者に対して通訳を行うとともに、ホテルや空港等での手続きをサポートするため、以下のとおり手配すること。

(ア) １月 19 日（月）ケンペゴウダ国際空港到着時から１月 21 日（水）ケンペゴウダ国際空港到着時まで、日本語に精通した通訳者又は通訳と同等の日本語力のあ
るガイド（以下「現地通訳者」という。） 1 名

4 委託業務の対象経費

(1) 旅費に関する経費

- ・国内外交通費（航空代金、燃油サーチャージ、現地空港税、国内空港施設使用料）、e-visa 代理申請、宿泊費（朝食付）等

(2) 現地専用車の借上に係る経費

(3) 現地通訳者の手配及びミッション団への帯同に係る経費

※参加者の食事代（宿泊費に含まれるものを除く）、海外保険に関する費用及びパスポートに係る費用は当該参加者の自己負担とする。

※航空代金については、エコノミークラスの経費とし、参加者の都合によりその他のクラス（プレミアムエコノミー、ビジネスクラス等）を利用する場合は、エコノミークラスとその他のクラスの経費の差額を当該参加者の自己負担とする。この場合、当該参加者から経費の差額を直接徴収し、航空会社等に支払うこと。

※参加者の都合により、航空便を変更する場合は、柔軟に対応するものとし、航空代金、燃油サーチャージ、現地空港税及び国内空港施設使用料等の変更に応じ、必要な場合は契約変更を行うこと。

5 提出書類

入札時に以下(1)の資料を提出し、契約締結後に以下(2)～(4)の資料を提出すること。

- (1) 見積内訳書 1部（電子データを含む）
- (2) 行程書（輸送機関、時間等を記したもの） 1部（電子データを含む）
- (3) 各地最寄りの支店又は現地法人の案内を記載した資料 1部（電子データを含む）
- (4) 宿泊予定ホテル資料 1部（電子データを含む）

6 業務結果の報告

受注者は、委託業務を完了したときは、遅滞なく発注者に対して業務完了報告書（別紙様式）を提出しなければならない。

7 特記事項

- (1) 受注者は、善良なる管理者の注意をもって処理し、その事業目的を達成するために効率的に運営すること。
- (2) 受注者は、事故や運営上の課題等が発生した場合は、速やかに県に報告すること。
- (3) 受注者は、この事業に係る苦情等について、責任を持って対応するものとする。
- (4) 本事業の関係書類等を整備・保管し、発注者の求めに応じ必要な書類の提出や実地検査等に際しては、協力すること。

8 その他

- (1) 参加者のうち、やむを得ない理由により参加できない者が発生した場合に係る費用は、キャンセル料を除いた額を減じて精算することとし、実績額が当初の委託額を下回る場合には、その実績額を委託契約額とする。
- (2) キャンセル料の発生する期間において、感染症の感染拡大、国際情勢の悪化や自然災害等により、渡航について危険を伴うと発注者が判断し、当該旅行を中止した場合は、キャンセル料について柔軟な対応を行うこととし、必要な場合は契約変更を行うこと。
- (3) 訪問先において、災害等緊急事態が発生した場合、直ちに旅行参加者の安全確保、状況把握、連絡体制の構築を行うとともに、速やかに参加者が緊急帰国するための航

空券の手配を行うことができる体制を構築すること。

- (4) 委託業務の実施に当たっては、発注者と十分に連携を図ること。
- (5) 個人情報の取扱いについては、各種法令遵守を徹底するとともに、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。
- (6) 事業実施により得た情報（個人情報を含む。）等については、発注者に帰属する。
- (7) 本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合については、その都度発注者と協議し決定すること。

別紙 1

(1) 参加人数：7 名（山形県内民間企業の代表者 4 名及び県職員 3 名）

(2) 行程表

日数	月日	都市名	現地時間	交通機関	内容
1	令和 8 年 1月18日 (日)	羽田	2 0 0 0 2 2 5 5	航空機	参加者各自移動 羽田空港着【現地集合】 羽田空港発（シンガポール航空SQ635便）
2	1月19日 (月)	シンガポール ベンガルール マンガルール	0 5 2 0 0 8 4 5 1 0 3 5 1 6 1 5 1 7 2 0 1 8 2 0	航空機 航空機 大学手配	チャンギ国際空港着 チャンギ国際空港発（シンガポール航空SQ508便） ケンペゴウダ国際空港着 ケンペゴウダ国際空港発（インディゴ航空） マンガルール国際空港着 ホテル着（泊）
3	1月20日 (火)	マンガルール ベンガルール	0 9 0 0 1 0 0 0 1 5 0 0 1 5 5 0 1 7 5 0 1 8 5 5 2 0 0 0	大学手配 専用車	ホテル発 Nitte大学到着 Nitte大学出発 マンガルール国際空港着 マンガルール国際空港発（インディゴ航空） ケンペゴウダ国際空港着 ホテル着（泊）
4	1月21日 (水)	ベンガルール	0 9 0 0 1 0 3 0 午後 1 9 0 0 2 3 0 5	専用車 航空機	ホテル発 ベンガルール国際展示場着 IMTEX2026（インド工作機械展）視察 地元企業訪問 ※調整中 Government Tool Room and Testing Centre(GTTC)視察 ケンペゴウダ国際空港着 ケンペゴウダ国際空港発(シンガポール航空SQ511便)
5	1月22日 (木)	シンガポール 羽田	0 6 1 0 0 8 0 5 1 5 3 5	航空機	チャンギ国際空港着 チャンギ国際空港発（シンガポール航空SQ632便） 羽田空港着【現地解散】

(3) 行程表上の補足事項

- ・初日 1 月 18 日（日）の羽田空港には参加者各自集合、最終日 1 月 22 日（木）は羽田空港で現地解散とする。
- ・1 月 21 日（水）午後の視察先については、決定次第、別途連絡するものとする。

別紙 2

(1) 参加人数：山形県内民間企業の代表者 1 名

(2) 行程表

日数	月日	都市名	現地時間	交通機関	内容
1	令和 8 年 1月18日 (日)	羽田	2 0 2 5 2 2 5 5	航空機	参加者各自移動 羽田空港着【他参加者と合流】 羽田空港発（シンガポール航空SQ635便）
2	1月19日 (月)	シンガポール ベンガルール マンガルール	0 5 2 0 0 8 4 5 1 0 3 5 1 6 1 5 1 7 2 0 1 8 2 0	航空機 航空機 大学手配	チャンギ国際空港着 チャンギ国際空港発（シンガポール航空SQ508便） ケンペゴウダ国際空港着 ケンペゴウダ国際空港発（インディゴ航空） マンガルール国際空港着 ホテル着（泊）
3	1月20日 (火)	マンガルール ベンガルール	0 9 0 0 1 0 0 0 1 5 0 0 1 5 5 0 1 7 5 0 1 8 5 5 2 0 0 0	大学手配 専用車	ホテル発 Nitte大学到着 Nitte大学出発 マンガルール国際空港着 マンガルール国際空港発（インディゴ航空） ケンペゴウダ国際空港着 ホテル着（泊）
4	1月21日 (水)	ベンガルール デリー	0 9 0 0 1 0 3 0 1 2 0 0 1 3 3 0 1 5 3 0 1 8 3 0 2 2 0 0	専用車 専用車 航空機 航空機	ホテル発 ベンガルール国際展示場着 IMTEX2026（インド工作機械展）視察 ベンガルール国際展示場発 ケンペゴウダ国際空港着 ケンペゴウダ国際空港発（エアインディアAI2511便） デリー国際空港着 デリー国際空港発（エアインディアAI358便）
5	1月22日 (木)	羽田	0 9 0 5		羽田空港着【現地解散】

(3) 行程表上の補足事項

- ・ 初日 1 月 18 日（日）の羽田空港には参加者各自集合、最終日 1 月 22 日（木）は羽田空港で現地解散とする。
- ・ 1 月 21 日（水）午後の視察先については、決定次第、別途連絡するものとする。

業 務 完 了 報 告 書

令和 年 月 日

山形県知事 吉村 美栄子 殿

受 注 者
住所又は所在地
名 称
代 表 者 氏 名

下記の業務が完了したので報告します。

記

業 務 名	インドミッション団派遣事業業務 (インド高度人材活躍・海外ネットワーク強化事業)
金 額	¥ 円 (うち消費税及び地方消費税の額¥ 円)
期 間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
業 務 完 了 年 月 日	令和 年 月 日
検 査 年 月 日	※令和 年 月 日
検 査 職 員	※職 氏名 印
摘 要	

備考1 本書は、正副2通提出すること。

2 ※印のついている欄は、記入しないこと。

3 甲は、検査終了後、検査の結果を記載した本書の副本を、乙に交付するものとする。